

# 家畜衛生だより

令和2年10月第12号(豚)  
東部・北部家畜防疫獣医師会  
(公社)千葉県畜産協会  
東部家畜保健衛生所  
TEL: 0475(52)4101  
FAX: 0475(52)3335  
<http://www.pref.chiba.lg.jp/kh-toubu/index.html>

## 豚流行性下痢(PED)のシーズンが近づいています。 防疫対策を徹底しましょう！！

PEDは、気温の低下する冬季に発生が増加する傾向があり、令和元年シーズンも4県で70農場の発生が確認されています。

農場内の衛生管理・ワクチン接種等の再徹底をしましょう。

### 【以下の項目を再チェックし、PEDの侵入を防止しましょう！】



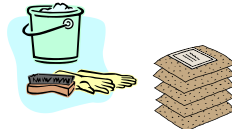
農場に出入りする車両と運転者の手指や運転席を消毒する。



畜舎ごとに専用の衣服・長靴を着用する。



農場に関係者以外の立入禁止看板を設け、立入者の記録を残す。



豚舎の入口に踏み込み消毒槽を設置し、農場入口に消石灰を散布する。



PEDワクチンを繁殖母豚に接種し、乳汁を哺乳豚に飲ませる。



新たに豚を導入する際、隔離豚舎で健康観察を行う。



野鳥、ネズミ等の野生動物の侵入を防止する。



と畜場等の畜産関連施設に出入りする際、消毒を徹底する。

防護柵・防鳥ネットの設置義務付け  
令和2年11月1日からです！

### 豚が以下の症状のいずれかを示した場合、速やかに通報を！！

- ① 複数(周辺農場で本病が発生している場合には1頭)の繁殖母豚が分娩した哺乳豚のうち、半数以上が水様性下痢、嘔吐又は死亡を呈した場合
- ② 同一繁殖母豚が分娩した哺乳豚のうち、1頭以上が水様性下痢もしくは嘔吐を呈し又は死亡し、半日以内に同一腹の哺乳豚又は他の繁殖母豚が分娩した哺乳豚に同一症状が拡大した場合
- ③ 同一飼養区画内で複数の繁殖豚又は肥育豚(離乳豚も含む)が、食欲不振、下痢(軟便から水様性)又は嘔吐を呈した場合

(豚流行性下痢(PED)防疫マニュアルより)

豚の様子がおかしいな、と思ったら速やかに

東部家畜保健衛生所 Tel. 0475-52-4101 Fax. 0475-52-3335

※夜間・休日は転送されますので、必ず5回以上コールしてください

# 豚熱・アフリカ豚熱の侵入防止対策を徹底しましょう!

2018年9月、26年振りに日本で豚熱が発生しました。近隣国では、豚熱及びアフリカ豚熱の発生が継続しており、侵入リスクが高い状況が続いています。

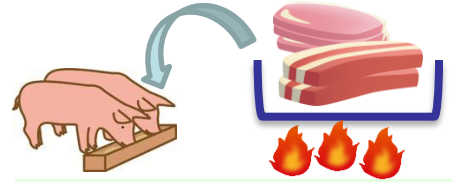
## 衛生管理を徹底しましょう!



関係者以外の農場  
への立入を禁止



農場に出入りする際には、  
消毒を実施



飼料に畜産物を含む又は  
含む可能性がある場合は  
十分に加熱処理

## 豚熱

2020年9月群馬県のワクチン接種農場で発生  
(野生いのししでも発生継続)

**特徴的な症状が無く、気がつきにくい疾病です!**

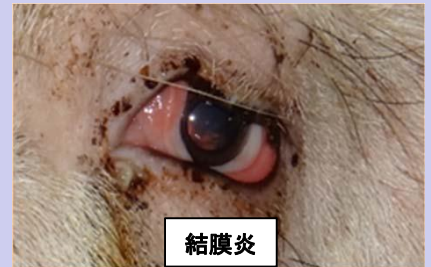
発熱、食欲不振、元気消失等、うずくまり、便秘に続く下痢、呼吸障害等  
異状を発見したら直ちに通報しましょう!



耳翼の紫斑



元気がない



結膜炎

写真出典: 岐阜県

重症例は後躯麻痺・運動失調・四肢の激しい痙縮などの神経症状、皮下出血による紫斑(耳翼、尾、腹部、内股部)を呈し死亡。

## アフリカ豚熱

2018年8月以降中国、韓国、ベトナム、  
フィリピン等で発生継続

**病状は多岐に渡り、甚急性では突然死亡、  
急性では発熱が見られます。**

異状を発見したら直ちに通報しましょう!



死亡



チアノーゼ

病状は多岐に渡り、甚急性、急性、  
亜急性、慢性の症状を示す。甚急性  
では突然死亡、急性では発熱  
(40~42℃)、皮下出血、脾臓の腫  
大、粘血便、チアノーゼ等を呈し、  
死亡率は100%に近い。

写真出典: 国立研究開発法人農業食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門

